

特別勘定に関する指標等

特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末
個人変額保険	142,293	140,261	114,091
変額個人年金保険	14,165	13,603	16,321
団体年金保険	656,323	690,924	583,329
合 計	812,781	844,789	713,742

■ 個人変額保険および変額個人年金保険特別勘定資産の運用の経過

国内株式市場は、年度当初、円安を受けた企業業績への期待や堅調な外国株式市場を背景に底堅く推移しましたが、7月下旬から8月にかけて、米国株式市場を発端とした世界的な株価下落にともなって、大幅な調整となりました。その後、FRBによる利下げなどを好感し、反発する場面もありましたが、海外金融機関の損失拡大懸念や円高進行を受けて下落基調となり、3月には、日経平均が一時12,000円を割り込むまで急落し、年度末の日経平均は、前年度末対比4,762円安い12,525円で引けました。

国内債券市場は、年度当初、利上げ観測などを受けて長期金利が一時2%目前まで急騰しましたが、サブプライム問題から世界的な株価下落が起こると、「質への逃避」の動きから債券が買われ、金利は急低下しました。年度後半も、国内景気や企業業績に対する懸念が強まるとともに、日銀の金融政策も現状維持が継続されたため、長期金利は低下基調で推移し、10年国債利回りは前年度末対比0.38%低い1.28%で引けました。

海外市場では、米国株式市場は、良好な企業業績や活発な合併・買収報道などを背景に上昇して始まりましたが、7月には米国住宅市場の減速やサブプライム問題の拡大などをを受けて急落しました。その後、米政府の対策やFRBによる大幅な利下げを好感して反発に転じる場面もありましたが、大手金融機関の予想以上の損失拡大や景気減速懸念から軟調な展開となり、NYダウは12,000ドル割れを記録しました。その後、やや株価は戻りましたが、年度末のNYダウは、前年度末対比91ドル安い12,262ドルで引けました。

米国債券市場は、年度当初、堅調な経済指標を受けた利下げ観測の後退から金利は上昇しましたが、サブプライム問題や世界的な株価急落から、リスク資産回避の傾向が強まったため、金利は一転して低下基調となりました。その後、政策金利の相次ぐ引き下げによるインフレ懸念から、長期金利は上昇する場面もありましたが、景気後退懸念による株価下落などから、再び低下し、米国10年国債利回りは前年度末対比1.24%低い3.41%で引けました。

為替については、年度当初は、欧米諸国との絶対的な金利差などから円安となりましたが、サブプライム問題をきっかけに、円キャリー取引解消の動きなどから対ドルを中心に急速な円高が進行しました。前年度末対比では、対ドルで円高、対ユーロでは若干円安となりました。

こうした環境のなか、個人変額保険に関しましては、特定の資産への組入れを過度に偏らせることなく、分散投資により安定的な収益の確保に努めました。平成19年度については、当初、国内外での景気回復基調の継続と、低水準にとどまる国内金利などを考慮して、前年度に対し、国内債券を少なめとする一方で内外株式を多めの配分としました。しかし、年度後半にかけては、景気動向などに鑑みまして、内外株式の比率を引き下げるとともに、国内債券の比率を引き上げるなどの対応を実施しました。

変額個人年金保険に関しましては、特別勘定への資金の動きに合わせて、投資信託への投資を行ないました。なお、投資信託への組み入れ比率については期間を通じて概ね高位を維持しました。

個人変額保険（特別勘定）の状況

■ 保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	358	1,838	249	1,241	108	484
変額保険（終身型）	65,257	709,616	63,916	687,256	62,584	661,341
合 計	65,615	711,454	64,165	688,498	62,692	661,826

(注) 保有契約高には、定期保険特約部分を含めています。

個人変額保険特別勘定資産の内訳

（単位：百万円、％）

区 分	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	3,228	2.3	2,214	1.6	3,159	2.8
有 価 証 券	133,936	94.1	133,100	94.9	102,336	89.7
公 社 債	42,249	29.7	32,474	23.2	31,467	27.6
株 式	47,458	33.4	52,036	37.1	38,555	33.8
外 国 証 券	44,228	31.1	48,589	34.6	32,313	28.3
公 社 債	21,094	14.8	21,163	15.1	13,625	11.9
株 式 等	23,133	16.3	27,426	19.6	18,688	16.4
そ の 他 の 証 券	-	-	-	-	-	-
貸 付 金	-	-	-	-	-	-
そ の 他	5,128	3.6	4,946	3.5	8,595	7.5
貸 倒 引 当 金	-	-	-	-	-	-
合 計	142,293	100.0	140,261	100.0	114,091	100.0

個人変額保険特別勘定の運用収支状況

（単位：百万円）

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利息及び配当金等収入	2,520	2,632	2,607
有価証券売却益	12,027	5,194	6,191
有価証券償還益	-	-	0
有価証券評価益	26,590	22,873	8,244
為替差益	8	25	41
金融派生商品収益	70	180	239
その他の収益	5	21	7
有価証券売却損	4,006	2,017	5,208
有価証券償還損	-	-	-
有価証券評価損	12,525	21,020	30,847
為替差損	14	4	17
金融派生商品費用	94	209	328
その他の費用	3	0	1
収 支 差 額	24,579	7,675	△19,070

有価証券の時価情報（個人変額保険特別勘定）

売買目的有価証券の評価損益

（単位：百万円）

区 分	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	133,936	14,065	133,100	1,853	102,336	△22,602

金銭の信託の時価情報（個人変額保険特別勘定）

平成17年度末、平成18年度末、平成19年度末とも保有していません。

■ デリバティブ取引の時価情報（個人変額保険特別勘定）

(1) 差損益の内訳（ヘッジ会計適用分・非適用分の内訳）

（単位：百万円）

区 分	平成17年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	-	-	-	-	-	-
ヘッジ会計非適用分	-	0	-	-	-	0
合計	-	0	-	-	-	0
区 分	平成18年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	-	-	-	-	-	-
ヘッジ会計非適用分	-	△0	-	-	-	△0
合計	-	△0	-	-	-	△0
区 分	平成19年度末					
	金利関連	通貨関連	株式関連	債券関連	その他	合計
ヘッジ会計適用分	-	-	-	-	-	-
ヘッジ会計非適用分	-	△6	-	-	-	△6
合計	-	△6	-	-	-	△6

(2) 金利関連（ヘッジ会計適用分・非適用分の合算値）

平成17年度末、平成18年度末、平成19年度末とも保有していません。

(3) 通貨関連（ヘッジ会計適用分・非適用分の合算値）

（単位：百万円）

区 分	平成17年度末			平成18年度末			平成19年度末					
	契約額等 うち1年超	時価	差損益	契約額等 うち1年超	時価	差損益	契約額等 うち1年超	時価	差損益			
店頭	為替予約											
	売建	0	-	0	0	-	0	△0	2,431	-	2,439	△7
	米ドル	-	-	-	-	-	-	-	1,247	-	1,249	△1
	ユーロ	-	-	-	-	-	-	-	537	-	539	△2
	英ポンド	-	-	-	-	-	-	-	272	-	273	△1
	カナダドル	-	-	-	-	-	-	-	110	-	110	△0
	スイスフラン	-	-	-	-	-	-	-	89	-	89	△0
	豪ドル	-	-	-	-	-	-	-	69	-	69	△0
	シンガポールドル	0	-	0	0	-	0	△0	37	-	38	△0
	スウェーデンクローネ	-	-	-	-	-	-	-	37	-	38	△0
	ノルウェークローネ	-	-	-	-	-	-	-	17	-	18	△0
	デンマーククローネ	-	-	-	-	-	-	-	12	-	12	△0
	買建	-	-	-	-	-	-	-	177	-	179	1
	米ドル	-	-	-	-	-	-	-	99	-	100	0
ユーロ	-	-	-	-	-	-	-	78	-	79	0	
合計								△0			△6	

(4) 株式関連（ヘッジ会計適用分・非適用分の合算値）

平成17年度末、平成18年度末、平成19年度末とも保有していません。

(5) 債券関連（ヘッジ会計適用分・非適用分の合算値）

平成17年度末、平成18年度末、平成19年度末とも保有していません。

変額個人年金保険（特別勘定）の状況

保有契約高

（単位：件、百万円）

区 分	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
変額個人年金保険	3,770	14,032	4,351	13,503	5,518	16,183

変額個人年金保険特別勘定資産の内訳

（単位：百万円、%）

区 分	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	金額	占率	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	251	1.8	73	0.5	78	0.5
有 価 証 券	13,586	95.9	13,049	95.9	15,789	96.7
公 社 債	-	-	-	-	-	-
株 式	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	-	-	-	-	-	-
公 社 債	-	-	-	-	-	-
株 式 等	-	-	-	-	-	-
そ の 他 の 証 券	13,586	95.9	13,049	95.9	15,789	96.7
貸 付 金	-	-	-	-	-	-
そ の 他	328	2.3	479	3.5	453	2.8
貸 倒 引 当 金	-	-	-	-	-	-
合 計	14,165	100.0	13,603	100.0	16,321	100.0

変額個人年金保険特別勘定の運用収支状況

（単位：百万円）

区 分	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利息及び配当金等収入	629	532	407
有価証券売却益	0	0	0
有価証券償還益	-	-	-
有価証券評価益	3,662	3,525	1,367
為替差益	-	-	-
金融派生商品収益	-	-	-
その他の収益	-	-	-
有価証券売却損	0	0	0
有価証券償還損	-	-	-
有価証券評価損	1,479	3,662	3,754
為替差損	-	-	-
金融派生商品費用	-	-	-
その他の費用	0	0	0
収 支 差 額	2,812	395	△1,979

有価証券の時価情報（変額個人年金保険特別勘定）

売買目的有価証券の評価損益

（単位：百万円）

区 分	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた評価損益
売買目的有価証券	13,586	2,183	13,049	△137	15,789	△2,386

金銭の信託の時価情報（変額個人年金保険特別勘定）

平成17年度末、平成18年度末、平成19年度末とも保有していません。

デリバティブ取引の時価情報（変額個人年金保険特別勘定）

平成17年度末、平成18年度末、平成19年度末とも保有していません。

団体年金保険（特別勘定）の状況

■ 団体年金保険特別勘定特約の受託状況

(単位：件、百万円)

	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	団体数	時価残高	団体数	時価残高	団体数	時価残高
特別勘定第1特約	1,552	645,641	1,541	659,302	1,498	554,499
総合口	1,432	461,916	1,424	489,122	1,374	411,180
投資対象別各口	134	183,724	129	170,179	141	143,318
その他	2	835	1	859	1	530
合計	1,554	646,476	1,542	660,161	1,499	555,029

(注) 1. 特別勘定第1特約は、複数の団体年金のご契約資金を合同運用しています。
2. その他には、特別勘定第2特約、給付専用ファンドを含めています。

■ 特別勘定第1特約（総合口）の状況

(1) 平成19年度の運用状況

年度計画に対して、期初は国内債券を少なめ、外国債券・内外株式を多めとしましたが、第3四半期に外国債券を少なめに変更し、第4四半期には国内債券、内外株式を中立に戻しました。平成19年度通期の総合口の時間加重収益率は、内外株式が大きくマイナスとなり、全体で△15.96%となりました。

(単位：%)

	平成19年度計画	資産配分実績				
		平成19年3月末	6月末	9月末	12月末	平成20年3月末
国内債券	25.0	22.9	22.1	24.3	23.9	29.5
国内株式	39.0	40.4	40.9	40.8	39.0	35.8
外国債券	13.0	13.8	14.0	12.2	11.1	11.9
外国株式	20.0	20.5	21.1	21.4	22.0	17.3
短期資金等	3.0	2.4	1.9	1.2	4.0	5.5
全体	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 資産別時価残高

(単位：百万円、%)

	平成17年度末		平成18年度末		平成19年度末	
	時価残高	構成比	時価残高	構成比	時価残高	構成比
国内債券	131,206	28.4	111,911	22.9	121,311	29.5
国内株式	181,906	39.4	197,568	40.4	147,292	35.8
外国債券	54,132	11.7	67,582	13.8	48,770	11.9
外国株式	84,304	18.3	100,419	20.5	71,156	17.3
短期資金等	10,366	2.2	11,640	2.4	22,650	5.5
全体	461,916	100.0	489,122	100.0	411,180	100.0

(3) 運用実績

(単位：%)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
時間加重収益率	23.13	5.58	△15.96

■ 特別勘定第1特約（投資対象別各口）の状況

(1) 平成19年度の運用状況

ファンド名	運用状況
円貨建公社債口	ファンダメンタルズ分析に基づき、デュレーション戦略、イールドカーブ戦略、セクター間の利回り格差分析を取入れたアクティブ運用を行ないました。デュレーションについては、年度前半は概ね短めとし、後半は景気減速を意識して一時長めとするなど機動的に調整しました。種別構成については非国債を多めとしました。
円貨建公社債口A	デュレーションはベンチマーク比限定的にとどめ、イールドカーブ戦略、セクターアロケーションおよび個別銘柄選択によるアクティブ運用を行ないました。残存期間構成についてはイールドカーブの形状変化に応じて適宜調整しました。種別構成については非国債を多めとしました。
円貨建株式口	ボトムアップ・アプローチに基づく定性分析と定量分析の融合によるアクティブ運用を行ないました。業種リスクを抑えつつ、銘柄選択では、当初、デフレ脱却や内需拡大を想定した入替えを実施しましたが、回復ペースの鈍化が懸念されるなか、安定した新興国需要に着目した入替えを実施しました。
円貨建株式口B	市場動向によるファクターの説明力変化を捉え、その重みを適宜修正するファクターローテーション戦略を採用したエンハンスドインデックス運用を行ないました。業種配分を中立に保ちながら、概ね「バリュースコア」を重視した運用を行ないました。
外貨建公社債口	ファンダメンタルズ分析に基づき、通貨戦略、デュレーション戦略、イールドカーブ戦略を決定し、アクティブ運用を行ないました。通貨配分については、米ドル、ユーロのほか、豪ドルやカナダドルなどで機動的に配分を変更しました。デュレーションについては、年度後半に概ね長めとするなど、機動的に調整しました。
外貨建公社債口A	通貨やデュレーションのリスクは限定的にとどめ、各国別にイールドカーブ戦略、セクターアロケーションおよび銘柄選択によるアクティブ運用を行ないました。通貨配分およびデュレーションは通貨圏ごとに中立を維持しつつ、国ごとに機動的に調整したほか、残存期間構成を適宜調整しました。
外貨建株式口	ボトムアップ・アプローチに基づく定性分析と定量分析の融合によるアクティブ運用を行ないました。業種リスクを抑え、地域配分もほぼ中立とし、銘柄選択では業種内で相対的に魅力度の高い銘柄の組入れを実施しました。
外貨建株式口B	市場動向によるファクターの説明力変化を捉え、その重みを適宜修正するファクターローテーション戦略を採用したエンハンスドインデックス運用を行ないました。地域配分や業種配分を中立に保ちながら、欧米ともに「バリュースコア」を重視した運用を行ないました。
短期資金口	流動性と安全性に留意した運用を行ないました。

(2) 時価残高と運用実績

(単位：百万円、%)

	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	年度末時価残高	時間加重収益率	年度末時価残高	時間加重収益率	年度末時価残高	時間加重収益率
円貨建公社債口	23,256	△1.40	22,128	2.26	25,935	3.19
円貨建公社債口A	15,526	△1.39	18,945	2.26	20,353	2.64
円貨建株式口	34,322	52.02	27,452	0.01	18,228	△30.98
円貨建株式口B	34,297	49.94	30,662	1.44	21,501	△28.43
外貨建公社債口	11,323	7.80	13,789	10.05	13,638	0.82
外貨建公社債口A	7,580	7.48	9,688	10.07	9,662	0.55
外貨建株式口	22,111	28.13	18,923	18.46	12,281	△16.89
外貨建株式口B	22,254	28.35	24,387	18.27	17,327	△17.24
短期資金口	13,051	0.00	4,201	0.21	4,389	0.48
合計	183,724		170,179		143,318	